

丘珠高校の特色としてははずせないのは「国際理解教育」。今も選択科目として、中国語・韓国語・ロシア語の授業を設置しているほか、毎年のように、語学研修をはじめとする「国際交流」活動が行われてきました。

<スタートは『アメリカ』>

開校 10 周年の記念事業として、昭和 59 年に札幌市の姉妹都市である、オレゴン州ポートランド市に本校の校長と代表生徒が訪問し、姉妹校提携を結んだのが丘珠高校の「国際交流」のスタートとなりました。



当時の交流は手紙やビデオ、美術作品の交換が中心だったそう！

<そして『オーストラリア』>

平成 2 年にオーストラリアニューサウスウェルズ州にあるポートマコーリー町の「ハスティング・コアラ・バンド」のメンバー 30 数名が来校し、吹奏楽部と演奏交流会を行ったのをきっかけに、ポートマコーリー高校との交流がはじまりました。

その後、教員や関係者の交流が進み、平成 6 年に開校 20 周年を記念し、姉妹校として正式に提携を結びました。以来、毎年 10 名程度の生徒による親善訪問に加え、1～3 名の生徒によるホームステイ型の語学研修が行われてきました。

ポートマコーリー高校からも定期的に親善訪問があり、20 名程度の訪問があった年もありました。

コロナ禍により交流が中断している間にポートマコーリー高校の日本語教育の取組がなくなり、交流が中断してしまったことがとても残念です。



ポートマコーリーの先生方と贈られたペナント

<韓国見学旅行>

平成 16 年から平成 19 年（29 期生～32 期生）の 4 年間は韓国への見学旅行が実施されました。ソウルを中心に観光したほか、現地の高校（美林高校）との交流も行われていました。



—2025 年 国際交流は新たなステップへ—

韓国水原市の三一工業高校と姉妹校提携を交わし、毎年の相互生徒派遣事業を予定しています！



校長室や職員玄関前の棚には国際交流で贈られたものがたくさん！

<他にも様々な国際交流事業が>

姉妹校による交流や見学旅行だけではなく、これまで多くの国際交流が行われてきています。

平成 13 年にはマレーシアから高校生 22 名が来校。平成 19 年にはロシアへ短期留学生を派遣、台湾や中国からも訪問団があった記録があります。国内で行われた様々な交流事業にもたくさんの生徒が積極的に参加していたようです。

【丘珠高クイズ vol.3】

今年 10/1 現在の丘珠高校の生徒数は 763 名です。では、最もたくさん生徒がいた頃の全校生徒数はおおよそ何名だったでしょう？

【vol.2の答え：丘珠体操】体育の授業の最初に行われていたらしいけど、いつ作られてどんな体操だったかは引き続き調査中！